

1月号 トマトくらぶ通信

令和7年12月発行
子育て支援センター トマトくらぶ
(めぐみこども園近く)
※巻高校グラウンド前の建物です
〒953-0044 新潟市西蒲区巻乙13
TEL 0256-78-8817

新しい年のスタートですね。今年も利用される親子の皆様が楽しく過ごせるような行事や遊び、育児講座を準備してお待ちしています。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

日	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土
				1 元日 年始お休み	2 年始お休み	3
4	5 トマトくらぶ スタートです	6	7 おやこ体操◎ 「マット遊び」 10:30 講師：こども園体操講師	8	9 大型絵本& 絵本の読み聞かせ 11:00	10
11	12 成人の日	13	14 おやこ体操◎ 「マット遊び」 10:30 講師：こども園体操講師	15 絵具でお絵かき ◎ 10:00~12:00	16 絵具でお絵かき ◎ 10:00~12:00	17
18	19要予約 誕生会 10:30 ハーフ Birthday 11:15	20 発育測定(1日)	21 おやこ体操◎ 「マット遊び」 10:30 講師：こども園体操講師	22 発育測定(1日)	23	24
25	26	27 節分製作★ 10:00~12:00	28 赤ちゃんの日♡ 10:30 絵本の読み聞かせと 節分製作	29 節分製作★ 10:00~12:00	30	31

- ・利用時間 月曜日～金曜日 9:00～15:00
- ・育児相談、健康・看護相談も随時行っています
- ・育児相談は電話でも受け付けています
- ・育児講座をご希望の方は電話かご利用時に予約を入れて下さい

年齢設定日

- ♡ 赤ちゃんの日…おおむね1歳未満
- ◎ トマトの日…おおむね1歳以上
- ★ どなたでもどうぞ!

★皆さんに気持ちよく利用してもらう為に以下の事にご協力ください

ご利用時のお願い

- ①発熱や風邪症状のないことを確認の上ご利用ください。
- ②各自水分補給できるものをご持参下さい。
- ③センター利用の際は、駐車場ではお子さんと手を繋ぎ、車に気をつけて下さい。
- ④お子さんは保護者の方が必ず見守って下さい。
- ⑤大型遊具はすべてお子さん専用ですので大人は使用できません。譲りあってお使いください。

1月の予定

15日(木)・16日(金)

10:00~12:00

絵具遊び◎

筆やスポンジ等色々なものを使って絵具でお絵かきしてみましょう。今月は「雪」をテーマにお絵かきします。

※スモックを用意していますが

汚れてしまっても差し支えない服装が安心です。

19日(月) 11:00 **要予約**

誕生会10:30

ハーフ Birthday 11:15

お誕生会と6か月を迎えるお子さんの

ハーフ Birthday の会を行います。

一緒にお祝いしてくれる方も大歓迎です。

(誕生児・ハーフ Birthday の方は

お申し込みください。

準備の為、誕生児は10:15までに

ハーフ Birthday の方は、11:00

までにお越しください。)

・発育測定は、20日(火)・22日(木)に行っています。

7日・14日・21日(水) 10:30

おやこ体操◎

「マット遊び」

(運動スペースで行います)

講師：めぐみこども園体操講師

歩けるお子さんから参加できます

親子でできる楽しい体操遊びや

お子さんの運動発達に役立つ豆知識も教えても

らいます。動きやすい服装でご参加

ください。寒いですが、元気に体を動かし

ましょう。

27日(火)・29日(木) ★

10:00~12:00

赤ちゃんの日

28日(水) ♡ 10:30

節分製作

2月3日は節分の「豆まき」です。「鬼」にちなんだ変身グッズを作ります。お家の方が鬼になっても、ちびっこ鬼になってもいいですよ。

「豆まき」を盛り上げましょう！

育児ひとくちメモ「イヤイヤ期をのりきろう」

1歳を過ぎると始まる「イヤ!」「イヤ!」の連発。も〜お大変!と嘆くお母さんも多いのでは……。うまく乗り切るコツとは。1歳半から3歳頃の子どもは、「〇〇しなさい!」という命令口調が大の苦手。子どもの思いを大切にしながら自分の思いも伝えましょう。

＊子どもが納得しやすい言葉の例＊

- ① 気持ちに共感する・・・「〇〇したかったのね」
- ② 思いを伝える・・・「お母さんは〇〇がしたいの」
- ③ 物の気持ちを伝える・・・「クマさんは〇〇だって」
- ④ 選ばせる・・・「〇と〇とどっちにする」
- ⑤ 尊重する・・・「〇〇をお願いね」
- ⑥ 理由を伝える・・・「〇〇だから〇〇しようね」
- ⑦ 見通しを持たせる・・・「〇〇したら〇〇しようね」

どんな子だって1歳〜3歳頃は強情で当たり前。強情、イヤイヤは、子どもが自分を作るためにはどうしても通らなくてはならない道なのです。やがて言葉での表現力、見通しを持つ力、状況の理解力が育ってくると自然に無くなります。

ひだまり通信より抜粋